

## 平成29年度第1回岡山県介護保険制度推進委員会 議事要旨

開催日時 平成29年6月6日(火) 14時00分から16時15分まで

開催場所 サン・ピーチOKAYAMA「ピーチホール」

出席者委員 14人出席(うち1人代理出席)

### 1 開会

### 2 あいさつ(小林福祉政策企画監)

### 3 会長、副会長の選任

会長に小池委員、副会長に江澤委員が互選により選任された。

### 4 議事(進行 小池会長)

#### (1)介護サービス評価部会委員の選任について

介護サービス評価部会委員に、生本委員、江澤委員、江田委員、尾崎委員、小泉委員、服部委員、平松委員、福嶋委員、村社委員の以上9名が選任された。

#### (2)介護保険事業の施行状況等について

(説明:長寿社会課)

#### 【委員の意見等】

○委員 資料は県全体であるが、県内の各地域の特性は異なる。市町村単位で課題や目指すべき方向も違う。地域包括ケア「見える化」システムにおいても、市町村ごとの一人当たりの介護給付費、要介護認定率等が示されているので、市町村ごとにデータの提示をしてほしい。市町村単位で提示があれば議論がしやすい。また、第1号被保険者数と併せて、第2号被保険者数があれば、より全体をみることもできる。

○委員 施設の稼働率が低下してきている。現状の利用実態の把握が必要である。更に、サービス付き高齢者向け住宅で介護に対応している施設が増えている。また、30年4月から介護医療院も創設される。このあたりも踏まえて次期計画の策定をする必要がある。

○委員 県の平均値では語ることができないこともある。県北地域では高齢化が進む中、しかも人口が減少する地域でどのように必要な介護サービスが提供できるのか。一方で、県南地域等の人口が多いところでは、高齢化が進行し、後期高齢者の数が増えていく中で介護サービスを確保することができるのか。県の主導で有効に活用できる仕組みも考えなくてはならない。

○委員 介護老人保健施設の中には、入所率90%を下回る施設もある。計画値と定員数ではなく、入所者数を示してほしい。県南東部や県南西部という圏域別ではなく、市町村別、更にできるだけエリアを狭くして、旧市町村単位での数値を提示してほしい。

○委員 全国でも訪問看護師が何人必要かがよく議論されており、訪問看護師の確保に努力している。実際に医療保険又は介護保険の訪問看護をしている事業所の数を示していただきたい。

○委員 一般の方は、特別養護老人ホームになかなか入所できないというイメージをお持ちのようだが、今は、あまり待たなくても入所できる施設になっている。特別養護老人ホームも入所者の確保に苦労している。特別養護老人ホームや、介護老人保健施設の数だけではなく、これらの施設の周囲にある有料老人ホームや特定施設入居者生活介護、サービス付き高齢者向け住宅の数という周辺環境に影響されるので、総合的な介護サービスの供給量で考えていただきたい。

○委員 問題は、利用料を払えない、又は負担に感じている方々がいるということ。この差をどこかが補うことができればなんとかなると思う。

○委員 資料42ページの国保連合会における苦情相談における苦情の具体的な内容が分かれば、質の確保に対するソフト面の取組の参考になると思う。また、養護老人ホームも空室がある。社会資源の一つとして多様な住まいと考えると、養護老人ホームの空室をうまく活用できる仕組みについて介護保険と併せて話が出来ればと思う。

○委員 8ページの各市町村別の第1号被保険者一人当たり保険給付費の表があります。このグラフのどの位置にある市町村が評価される市町村になるのか。6期計画期間中に県が考える改善が見られる市町村があれば教えてもらいたい。改善された要因が分かれば教えてほしい。

次に15ページにある各市町村の取組の中で訪問型サービス、通所型サービスの緩和した基準のA型の取組が、県内市町村中訪問型サービス8、通所型サービス15ですが、3年間の猶予期間があつたにもかかわらず全市町村が取り組めていないところを県はどう考えているのか。または、B型にすべての市町村が取り組めていないことをどう評価して、どのような指導を県は行うのか。

○事務局 8ページの下側は、単年度で作成しており、経年的な分析は出来ていない。今後分析が必要と考えているが、今現在、市町村の評価はできていない。

15ページの総合事業ですが、緩和基準Aを設ける、設けないということではなく、多様な担い手との組み合わせの中で各市町村が選択し、取り組んでいこうという方針の下で実施されている。必ずしもAがないからどうなのかということは考えていない。今後、県としては、多様な担い手をもっと増やしていきたい。

○委員 介護サービス従事者等の確保について、県も不足の数値が従前から示されているが、状況を示してほしい。

○委員 岡山県全体の住居の話になってきており、住居が福祉施設化しているのが現状と思う。もし住宅部局からオブザーバー参加でき、開示できるデータがあればよりよい議論ができるのではないかな。

○委員 若年性認知症の方の数値を調査する方法はないのか。地域包括支援センターで数値を把握して、公表できないか。40歳以上の数値がほしい。数値があれば、それに基づいて活動を考えていきたい。

○委員 数値を踏まえて、できる範囲で岡山らしさが次期介護保険事業支援計画に反映されたいと思う。

(3)第7期岡山県高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画のスケジュールについて  
(説明:長寿社会課)

【委員の意見等】

○委員 県は、市町村を支援する立場にあることは十分承知しているが、計画を策定する以上、データを分析して、よい計画を策定することが求められている。データからどういう施策を講じるかを計画の中で提示していかなければ、都道府県で差が生じてくると思う。

(4)その他

医療介護総合確保促進法に基づく岡山県計画(案)【介護分】について  
本題については、非公開で審議することが決定された。

5 閉会